

【授業実践振り返りカード】 3月

学校名 富士見小学校	1 学年						
授業者氏名 山科 美里							
題材名 「歯っぴーチャレンジ」 1 の 2 バージョン(学級)							
主 眼 秋の歯科健診後に自分の歯垢状態を知り 1 週間歯っぴーチャレンジをしてきた子どもたちが、もうすぐ 2 年生になろうとしている今、歯みがきの取り組み方に対して再び振り返り具体的にめあてを決め 1 週間チャレンジすることを通して、この 1 年間で培った歯の知識を試すだけでなく 2 年生でもむし歯を作らないという自分で自分の歯を守る力を育てることができる。							
学習材 歯っぴーチャレンジシート 中学生が作った年齢とう歯のグラフ							
成 果 ① 以前取り組んだ「歯っぴーチャレンジシート」の何人かのめあてを発表する ・食べたらずぐにみがく ・時間をかけてみがく ・仕上げみがきしてもらう ・フッ素いりのハブラシ粉を使う ・歯のうらをみがく ・はみがきした後は食べない 今でも、これらのめあてを毎日とりくんでいますか？ <table> <tr> <td>毎日取り組んでいる人</td> <td>1 2 人</td> </tr> <tr> <td>時々なら取り組んでいる人</td> <td>1 0 人</td> </tr> <tr> <td>もうやめてしまった人</td> <td>0 人</td> </tr> </table> ② 給食後の歯みがきでも、鏡磨きをしている人が少ないことを話題にする。 ③ 中学生が調べた「むし歯と年齢グラフ」を示して、大きくなるほどむし歯が多くなっていることを共有する。理由も考えてみる。 ④ 2 年生になる前にもう一度、歯を大切にする歯みがきチャレンジをして、毎日続けられるように習慣化しようと提案する。 ⑤ 歯っぴーチャレンジに自分のめあてを書く 毎日続けられそうな、めあてにすることを伝える ⑥ おうちの方に、取り組みやお願いのお便りを配布する。 ⑦ 給食後の歯みがきは余裕を持って確保し、全員が取り組めるようにする。 ⑧ 1 週間後のふりかえり 保護者の振り返り欄より 自分の大切な歯のお手入れをずっと頑張ってるね。 カードのおかげで、家で歯みがきに取りかかるまでの時間が早くなった。		毎日取り組んでいる人	1 2 人	時々なら取り組んでいる人	1 0 人	もうやめてしまった人	0 人
毎日取り組んでいる人	1 2 人						
時々なら取り組んでいる人	1 0 人						
もうやめてしまった人	0 人						
課 題 ・歯みがきの習慣化が、低学年での最大のめあてに感じている。「自分の歯みがきのコツは〇〇だ」とさっと言えるようになるといいなと思っているが、なかなか先は遠い気がします。							

【授業実践振り返りカード】 3月

学校名 富士見小学校	2 学年
授業者氏名 長田 文彰	
題材名 「歯っぴーチャレンジ N02」	
主 眼 秋の歯科健診後に自分の歯垢状態を知り1週間歯っぴーチャレンジをしてきた子どもたちが、もうすぐ3年生になろうとしている今、歯みがきの取り組み方を再度振り返り、具体的にめあてを決めて1週間チャレンジすることを通して、この1年間で培った歯の知識を試したり、「奥歯」「前歯」「犬歯」の違いに合った磨き方を考えたり、合い言葉「80年永久歯を大事にしよう作戦」を心がけて自分の歯を守る力を育てることができる。	
学習材 歯っぴーチャレンジシート 「奥歯」「前歯」「犬歯」「口腔内」の形の粘土	
成 果 ＊以前取り組んだ「歯っぴーチャレンジシート」をふり返り、何が課題だったかを知ることからスタートできた。 ＊保護者のコメント欄があったことで、保護者が我が子の歯みがき状況を把握し、コメントしながら、促進する家族も多くみられた。 ＊色を塗りたいという低学年の心理から、歯みがき促進につながる姿がみられた。 ＊歯の大切さはわかっているけど、「めんどくさい」が先にたつことがある。それを時々見返すために、学期に1回程度の「歯っぴーチャレンジ」があって、意欲につながって良かった。	
課 題 ・やることに意義はあるが、個人差と家庭との温度差をどう埋めるか。	

【授業実践振り返りカード】 3月

学校名 富士見小学校	3 学年
授業者氏名 野田 直美	
題材名 「 2 回目の歯っぴーチャレンジ週間を振り返ろう 」	
主 眼 1 回目の歯っぴーチャレンジ週間の取組を振り返り、休日の朝や昼の歯みがきに課題が残った子どもたちが、1 年間歯と口の健康について学習してきた締めくくりとして、もう一度それぞれ自分に合っためあてを決め、朝昼晩の歯みがきに1 週間チャレンジした結果に着目し、1 回目の取組と比べて良くなった点について伝え合うことを通して、自分や友だちの1 年間の成長を実感するとともに、4 年生でも1 本もむし歯を作らないようむし歯予防に努めていく意欲を高めることができる。	
学習材 ・歯っぴーチャレンジシート(1 回目・2 回目)	
成 果 ・1 回目の歯っぴーチャレンジで、休日の朝・昼の歯みがきができなかったという反省から、今回の歯っぴーチャレンジでは、「休日も朝・昼・晩しっかり歯みがきをしよう」という意識が全体的に高く、半分以上の児童が毎日磨くことができていた。 ・1 回目のチャレンジシートと見比べたことで、一人一人が自分の歯みがきへの意識の高まりや歯みがきの仕方の向上(鏡を見て・1 箇所ごと時間をかけて優しく丁寧に・むし歯になりやすい6 才臼歯を特に丁寧に磨くなど)を実感することができた。 【児童の振り返りより】 ・いつも前歯のすき間にゴミがついているから、前歯はガタガタしていて磨きづらかったけれど、鏡を見てちゃんと前歯を磨けた。 ・すき間磨きを頑張ったら、きれいになったし、すき間を磨くクセがついてよかった。 ・歯っぴーチャレンジの前は、磨くところをそこまで意識していなかったけれど、チャレンジ週間で、歯みがきを上手にしようと意識することができた。 ・頑張りたい磨き方を決めて、奥歯をきちんと磨くことができた。これからは仕上げ磨きもしてもらうようにして、4 年生ではむし歯をゼロにしたい。 ・むし歯になりやすい6 才臼歯と、歯と歯の間磨きが毎日できた。 ・前は歯みがきにかかる時間が5 分ぐらいだったけれど、今は10 分ぐらいできるようになった。 ・今回は磨かなかったときがなかったからよかった。頑張りたい磨き方を意識して、手鏡を見ながら磨くと、歯がつるつるになったり、いつもよりも口の中がスッキリしたりする気がしたので、これからも続けたい。 課 題 ・春や秋の歯科健診で虫歯が見つかったにも関わらず、まだ治療していない児童が数名いる。子どもだけでなく、保護者の歯と口の健康への意識を高めていく必要がある。3 年生で虫歯が見つかった子も、「4 年生ではむし歯を1 本も作らないように頑張って歯みがきをしたい」と考えている子どもが多いので、春休み中に治療し、『いい歯 いい口 いい気持ち』で新学期を迎えられるよう、お便り等で保護者の方々へお願いしたい。	

【授業実践振り返りカード】 3月

学校名 富士見小学校	学年 4 学年
授業者氏名 高橋 準	
題材名 「歯と口の大切さを発信しよう！」（総合的な学習の時間）	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 「歯と口の大切さを富士見小学校や富士見町に発信したい！」と願い、保護者向けに発信するイベントを2学期に行った子どもたちが、3学期のイベントのターゲットである高齢者に合った「歯と口の健康の情報」に着目し、発表することを通して、今後も「歯や口の健康の大切さ」を発信していくことの意欲を高めることができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・発表の場（本番） ・おたっしゃ広場（役場）さん側が宣伝してくれていること	
成 果 ・おたっしゃ広場さんが宣伝してくれたことで、「その分頑張って発表しよう！」「真剣に！」という雰囲気生まれた。発表も堂々とできた。 ・「第3回目（イベント）もやりたい」「5、6年生でもやりたい」といったふり返りがあった。	
課 題 ・「次も…！」という声が、第1回目の後よりあった。もう少し早めに発表を行うことで、回数を重ねることができたかもしれない。そして、より「来年度も…！」という思いをもって学年を終えられたと考える。	

【授業実践振り返りカード】 3月

学校名 富士見小学校	学年 5年
授業者氏名 赤堀万里子	
題材名 「ハッピーチャレンジ週間で自分の歯みがきを見返そう」	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 今年度歯とお口の健康について学んできた子どもたちが、第2回のハッピーチャレンジで今の自分の歯みがきについて考える場面で、よくできていることや、最近いい加減になっていることを出し合い、改めて自分の歯みがきのめあてを決めてハッピーチャレンジに取り組むことができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYTのイラスト等） ハッピーチャレンジカード・自分たちの学んできたこと（歯ブラシが届きにくいところ・歯垢が付きやすいところ・磨き方の工夫・道具の工夫など）	
成 果 意識して歯みがきに取り組もうとしている児童は、学びを生かしてフロスを使ったり、鏡を見て丁寧に磨いたりして、このハッピーチャレンジ週間で普段より意識した歯みがきができていた。 ○この前取り組んだ時よりも細かくきれいに磨けました。これからも細かく磨くことに意識しながらやっていきたいです。 ○いつもはかみ合わせはあまり意識しなかったけれど、ハッピーチャレンジで目標にしたことでしっかり磨きました。以前も同じような目標にしましたが、今回の方が前よりも意識できました。	
課 題 しっかり取り組める児童は、意識して歯みがきしたり振り返りしたりできているが、カードをなくしてしまったり、意識できなかったりする児童もいて取り組みに差が出てしまっていた。	

【授業実践振り返りカード】 3月

学校名	富士見小学校	学年	6 学年
授業者氏名 山崎 健太郎			
題材名 「自分の健康は自分で守る！ ～体も 脳も 歯も～」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 飲酒や喫煙、薬物乱用による害について学んだ子どもたちが、自分の行いと健康には密接な関係があることに着目し、学校薬剤師の方の講演から正しい知識を得たり、図や動画を見ながら依存性等の恐ろしさを感じたりすることを通して、自分の身体は自分で守ることの重要性を考えるとともに、歯の健康は自分の行い次第であることが顕著に現れることから、自分の生活習慣を大切にしていこうとする態度を養うことができる。			
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・学校薬剤師さんからのお話 ・喫煙や飲酒をする人の動画等			
成 果 〈子どもの振り返りより〉 ○将来的に、自分の健康をいつまでも維持していけるように、生活習慣をきちんと整えていきたい。 ○たばこは絶対に吸わない。デメリットしかなく、歯もボロボロになるかもしれないから。 ・歯と口の健康に焦点をあてて授業をすることはできなかったが、講義的な意味で保健の学習から自分の健康を自分で守る意識は高まったと感じる。			
課 題 ・歯と口の健康について、外部に発信するという活動に至らなかった。他の総合の学習との時間配分をもっと計画的にできるとよかった。			